

## 【通教 通信授業】民法2（物権）

## シラバス管理

管理モード	学生プレビュー(日本語)	学生プレビュー(英語)						
授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数	科目ナンバー
【通教 通信授業】民法2（物権）	2026	その他	—		難波 譲治	2年次配当	4	JD-CI2-101L

## 授業形式

通信授業（レポート学習）

## 履修条件・関連科目等

履修条件：通信教育課程の学生対象

## 授業で使用する言語

日本語

## 授業で使用する言語（その他の言語名）

## 授業の概要

- まず、物権法を学習する前提として、以下の点について十分、把握する。  
物権法の導入（1） 民法典の中の物権編概説  
物権法の導入（2） 物権の種類、物という概念、所有権絶対の原則  
物権法の導入（3） 物権変動原因としての「売買」と「相続」
- 物権総則の中心は「物権変動」である。対抗要件、公信力の有無などの位置づけについて、正確に理解する。  
不動産物権変動（意思主義、二重譲渡、第三者の範囲、登記を必要とする物権変動）  
不動産は重要な財産であり、特に重要であるから、民法177条についてはよく学習すること。  
動産物権変動（引渡しの意味と種類、公信の原則としての即時取得制度）
- 物権各論のうち、中心となるのは、所有権である。また、占有（権）が果たす機能も十分に理解する。  
所有権（所有権の意義、所有権の内容、所有権の取得、共有）  
占有（権）（権利表章機能、占有訴権、占有者の義務、権利取得機能）  
用益物権概説
- 担保物権の中心は抵当権である。取引実務上も頻繁に用いられているものであり、判例の蓄積も相当なものがある。また、非典型担保としての譲渡担保や所有権留保も、近時注目されている向きもあり、その概要を理解する。もともと、2025年に「譲渡担保契約及び所有権留保契約に関する法律」（略称は譲渡担保法）が公布された（施行日未定）。今後は教科書の記述が変わることが予想されるので、現時点では概要を理解すればよい。  
担保物権概説  
抵当権（意義、抵当権の及ぶ範囲、被担保債権の範囲、抵当権侵害、抵当権の実行、賃借人との調整、第三取得者との調整、法定地上権）  
質権  
非典型担保（譲渡担保、所有権留保）  
法定担保物権（留置権、先取特権）

## 科目目的

物権法は、形式的には、民法第2編物権（175条～398条の22）を意味する。物に対する独占的な支配権という（債権と比較した場合における）権利の性質を有するが、より具体的には、所有権を中心に、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、担保物権（留置権、先取特権、質権、抵当権）、占有権が法定されている。本授業では、（1）物権法の総則としての物権変動を学ぶとともに、（2）各則として以上の10個の物権の基礎的な知識の定着を目指す。

また、物権法は、たとえば、売買契約、請負契約、相続、取得時効、履行の強制、不当利得、不法行為など、狭い意味での物権法以外の領域とも密接に関連する。民法典全体の中での物権法の位置づけの基本についても触れ、視野を広げること目標とする。

## 到達目標

- 物権法の全体構造を理解する。
- 物権法の基礎的な概念、制度、解釈を理解する。
- 民法総則、債権法、相続法などとの関連性を意識しながら、民法全体での物権法の位置づけを理解する。
- 特に担保物権については、債権回収における担保の役割を理解する。

## 授業計画と内容

- 物権法の導入（1） 民法典の中の物権編概説  
物権法の導入（2） 物権の種類、物という概念、所有権絶対の原則  
物権法の導入（3） 物権変動原因としての「売買」と「相続」
- 不動産物権変動（意思主義、二重譲渡、第三者の範囲、登記を必要とする物権変動）  
動産物権変動（引渡しの意義と種類、公信の原則としての即時取得制度）

所有権（所有権の意義、所有権の内容、所有権の取得、共有）  
占有（権）（権利表章機能、占有訴権、占有者の義務、権利取得機能）  
用益物権概説

担保物権概説  
抵当権（意義、抵当権の及ぶ範囲、被担保債権の範囲、抵当権侵害、抵当権の実行、賃借人との調整、第三取得者との調整、法定地上権）  
質権  
非典型担保（譲渡担保、所有権留保）  
法定担保物権（留置権、先取特権）

#### 授業時間外の学修の内容

指定したテキストやレジュメを事前に読み込むこと

#### 授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

指定テキストを、事例が出てきた場合は図を書いてみるなどしながら、十分に読んで理解し、そのうえで、試験で書ける程度にその内容を記憶しておいてほしい。

#### 授業時間外の学修に必要な時間数／週

#### 成績評価の方法・基準

種別	割合（%）	評価基準
その他	100	試験（科目試験またはスクーリング試験）により最終評価します。

#### 成績評価の方法・基準（備考）

#### 課題や試験のフィードバック方法

その他

#### 課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

#### アクティブ・ラーニングの実施内容

実施しない

#### アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

#### 授業におけるICTの活用方法

実施しない

#### 授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

#### 実務経験のある教員による授業

いいえ

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

#### テキスト・参考文献等

通信教育課程 在学生サイト 教科書一覧を参照  
<https://sites.google.com/g.chuo-u.ac.jp/tsukyo-current/textbook?authuser=0>

#### オフィスアワー

【通信教育課程はなし】

#### その他特記事項

【通信教育課程はなし】

#### 参考URL

#### コメント1

【通信教育課程はなし】

#### コメント2

【通信教育課程はなし】

コメント3

---

【通信教育課程はなし】

コメント4

---

【通信教育課程はなし】